

委員会活動報告

大学院修士設計展実行委員会

委員長：飯村 和道



■環境・建築系大学院の各専攻では、修士論文に替えて、修士設計の提出を認める専攻が漸増しております。そのため、当実行委員会では後進育成の事業の一環として、修士設計を支援する立場から、関東甲信越支部における「大学院修士設計展」を2003年より実施しております。本年で第7回目を迎え、作品数も28点(18大学)と定着しつつあります。展示方法は、今までどおり各大学院専攻より選ばれた優秀作品をJIA 関東甲信越支部のホームページに1年間掲載する方法を採っております。また、第10回に向けて今までの作品を掲載した広報用小冊子の制作と、毎年発行できるパンフレットの企画制作を検討しております。

〈女子美術大学学芸部デザイン学科〉

建築相談委員会

委員長：阿部 一尋



■JIAの対社会活動・公益事業として市民向け建築相談を行なっている。今年度は特に相談員の資質向上を目的に、計5回の研修会を開催した。JIA賛助会員のご協力を得て、防水・塗装・コンクリート・タイル・サッシをテーマに開催し、一般会員の参加も励み好評であった。JIA 京都大会において他支部の相談委員会と情報交換するとともに、当組織の本部復帰を全国各支部に訴えた。



●研修会風景

JIAとして全国統一的な相談活動が必要であり、全支部の賛同を基に、本部理事会の承認を得て平成22年度から本部建築相談委員会が復活する。

〈NPO 横浜マンション管理組合ネットワーク〉

広報委員会

委員長：中村 高淑



■若手中心の活気ある委員会です。2009年度の主な活動をご紹介します。

- ① 会報誌「Bulletin」の企画発行：年間7号発刊。印刷所を見直すことによりオールカラー化とコストダウンを実現。
- ② WEBサイト・ブログの企画運営：前年度の会員向サイトに引き続き一般向けサイトをリニューアル。
- ③ メールマガジンを毎週発行。
- ④ 連携強化：本部-支部-地域会間の広報連携に加え、JOB(UIA大会)との連携準備を進めた。
- ⑤ 一般向け広報：会員向け広報の充実を図りつつ、一般向け広報強化に向けて整備中。

次年度は広報委員長、編集長が交代、新しい広報体制になります。

〈中村高淑建築設計事務所〉

保存問題委員会

委員長：和田 昇三



■当委員会では東京中央郵便局に対して1999年から重要文化財指定や保存活用の要望を繰り返して行ってきたが、部分保存という結果に対して、昨年7月「声明」を発表し「モダニズム建築・存亡の危機を越えるために」というテーマでシンポジウムを開催した。また、今年度は「世田谷区民会館を始めとする庁舎群」「博報堂旧本館」「片倉工業旧本社ビル」「歌舞伎座」に対して保



●博報堂旧本館

存要望書を提出した。この中のいくつかは近いうちに取り壊されると聞いている。

昨年「果たして将来、歴史という法廷に立つ覚悟はできているのか」と発言されたが、我々建築家はこの言葉をどのように受け止めたら良いであろうか。

〈足利工業大学〉

交流委員会

委員長：鈴木 敏彦



■交流委員会は、支部の正会員と賛助会員がパートナーとして技術や情報の交流を通して相互研鑽し、建築技術ならびに建築物の質の向上・発展を目指すことを目的とする委員会です。

活動は、セミナー、施設見学会、懇親ゴルフコンペなどを通年で開催しており、2009年度は建築相談委員会との共催で賛助会員企業による連続研修会を開催しました。支部財政に大きく貢献している賛助会員制度への正会員の皆様のご理解を賜ると共に、交流委員会の種々の活動への正会員、賛助会員の皆様の多数の参加をお待ちしております。

〈(株)大建設〉

支部実務委員会

委員長：野生司 義光



■ついに「登録建築家」制度がオープン化に

「登録建築家」制度を当初の予定に沿い、社会的制度として、昨年の12月15日よりJIA会員以外にも開放して運用することになった。その結果、JIA会員外から1名登録建築家になり、9名が新たな登録建築家として認定された。今回、更新申請者のうち、237名については、何れも更新要件を満たしており、支部認定評議会より認定された。しかしながら、更新者66名については、いくつかの基準を満たしていないため、3月末までに更新要件を満たし、かつ更新手続きがなされたものは、支部建築家資格制度委員会が確認の上、更新を認めるものとする。

〈(株)野生司環境設計〉